

生駒市立病院 開院10周年記念式典

医療のまちづくりビジョン

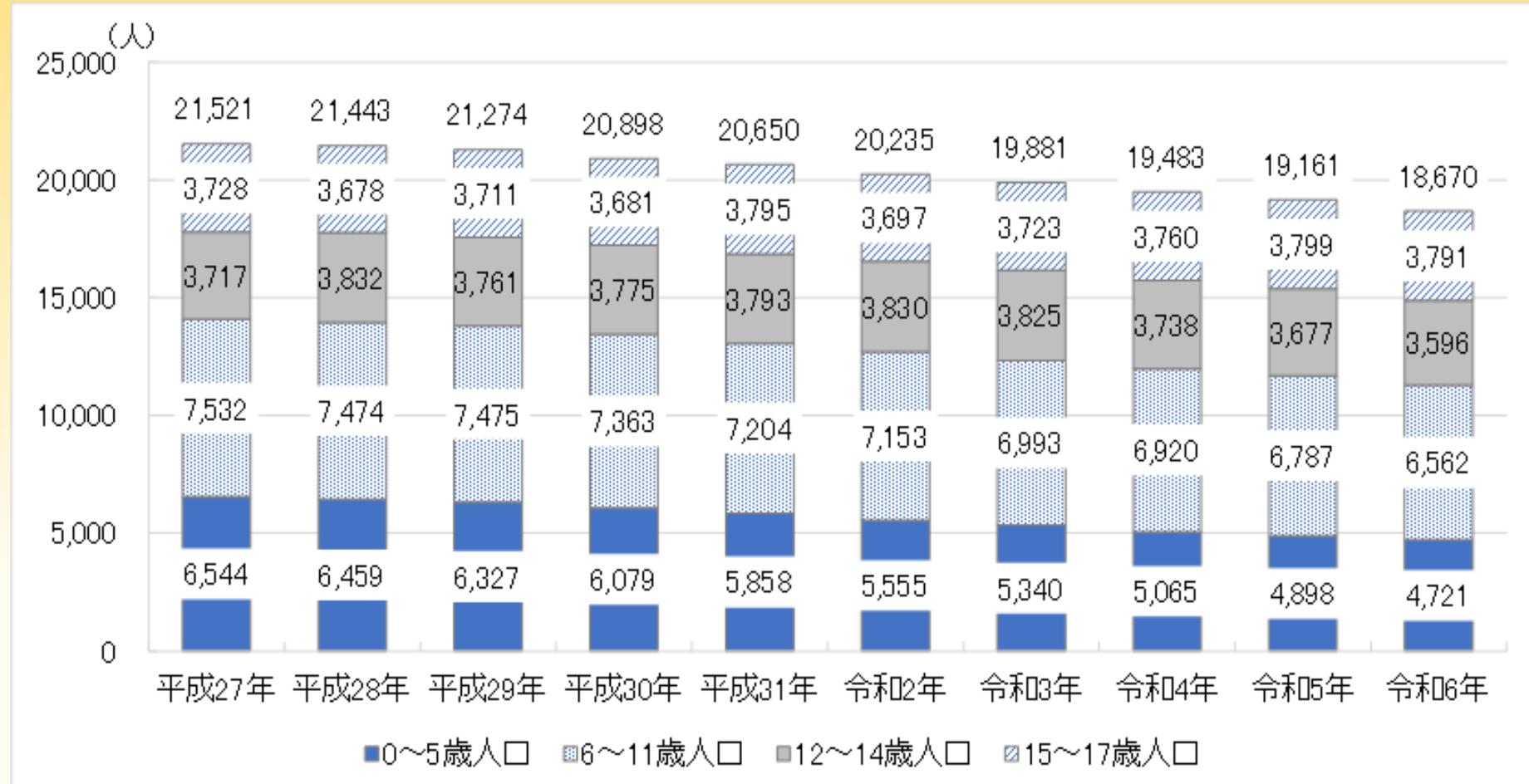
令和7年6月15日
生駒市長 小紫 雅史

1. これからの10年で生じる 大きな社会環境の変化と課題

(1) 少子化及び支援の必要な子どもの増加

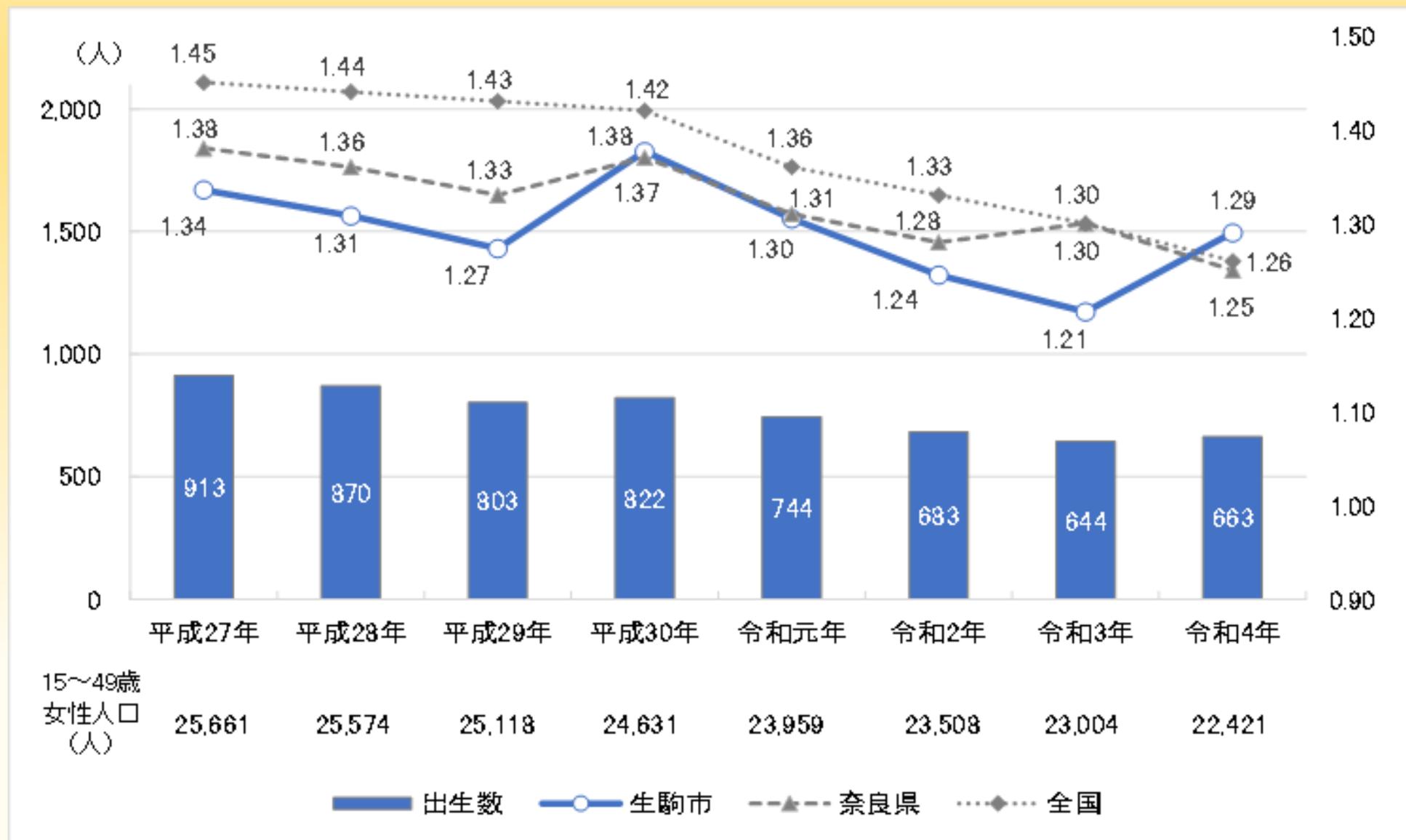
① 18歳未満人口の推移及び出生数等の現状

18歳未満人口の推移（各年4月1日現在）



資料：住民基本台帳

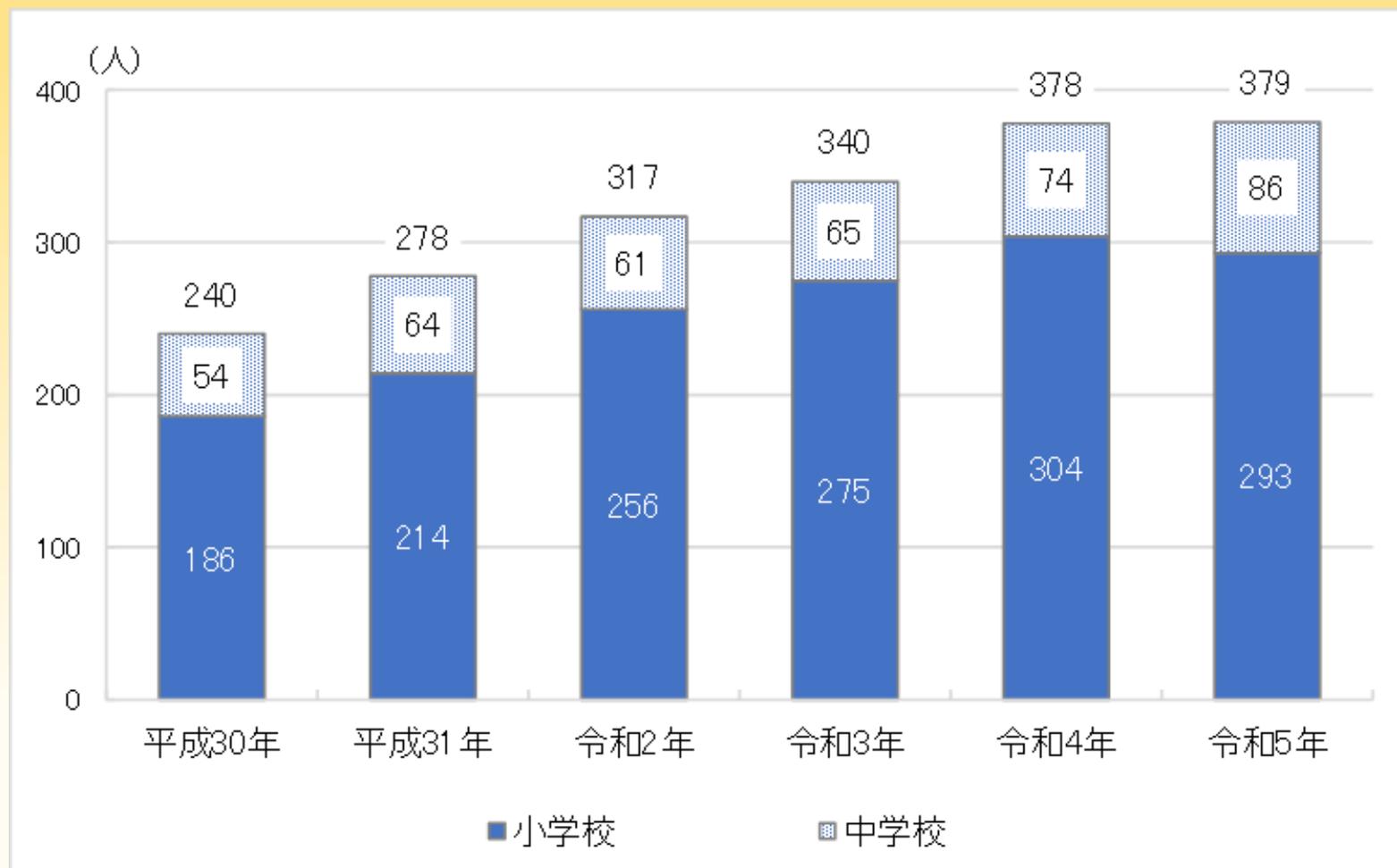
出生数・合計特殊出生率の推移



資料:住民基本台帳、厚労省人口動態調査

② 支援が必要なこどもの状況

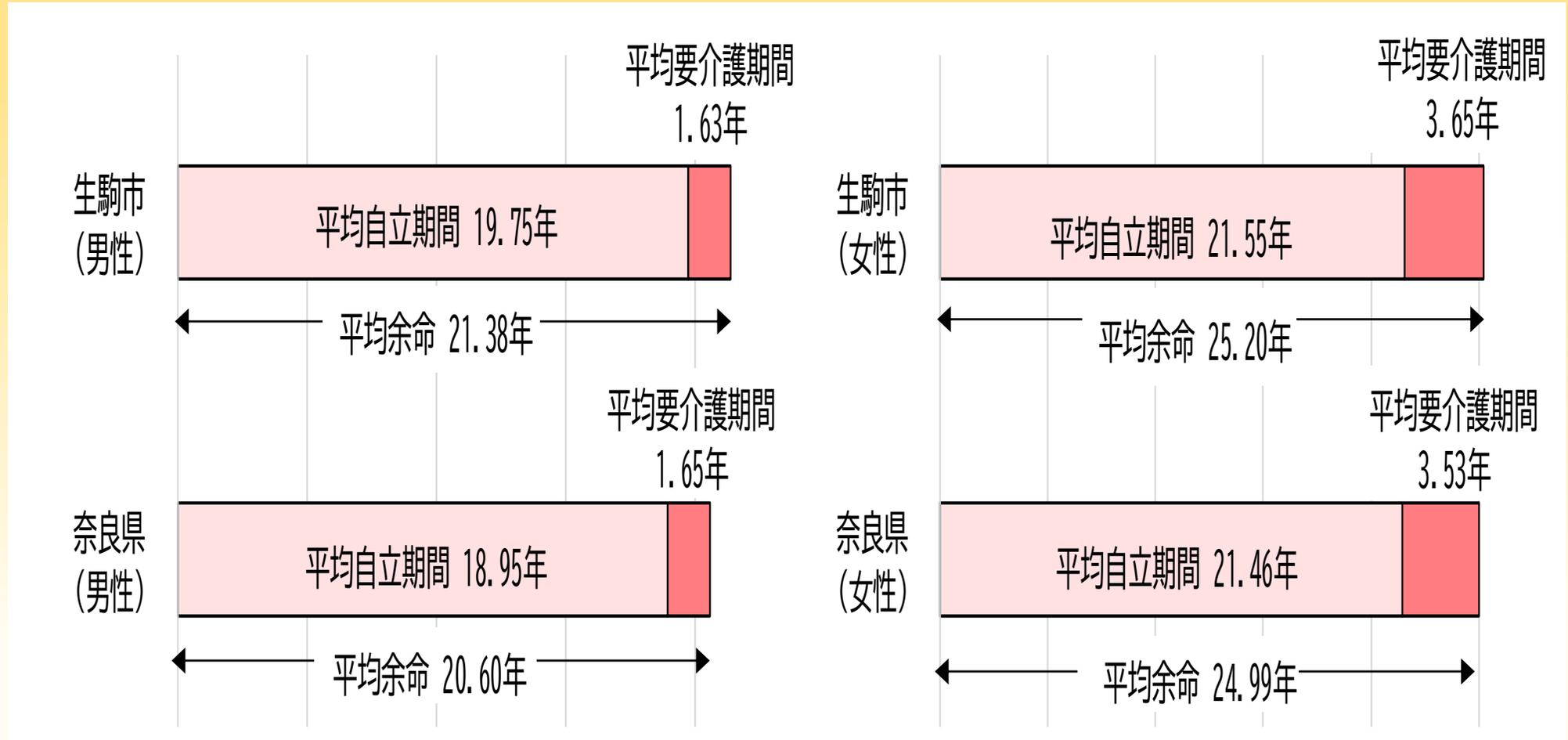
特別支援学級に在籍する児童・生徒数の推移



資料:教育指導課

(2) 健康寿命の延伸

65歳平均余命、65歳平均自立期間、平均要介護期間(2021(令和3)年)



→ 生駒市民は全国有数の長寿のまち、健康寿命も長い

健康診断の受診状況



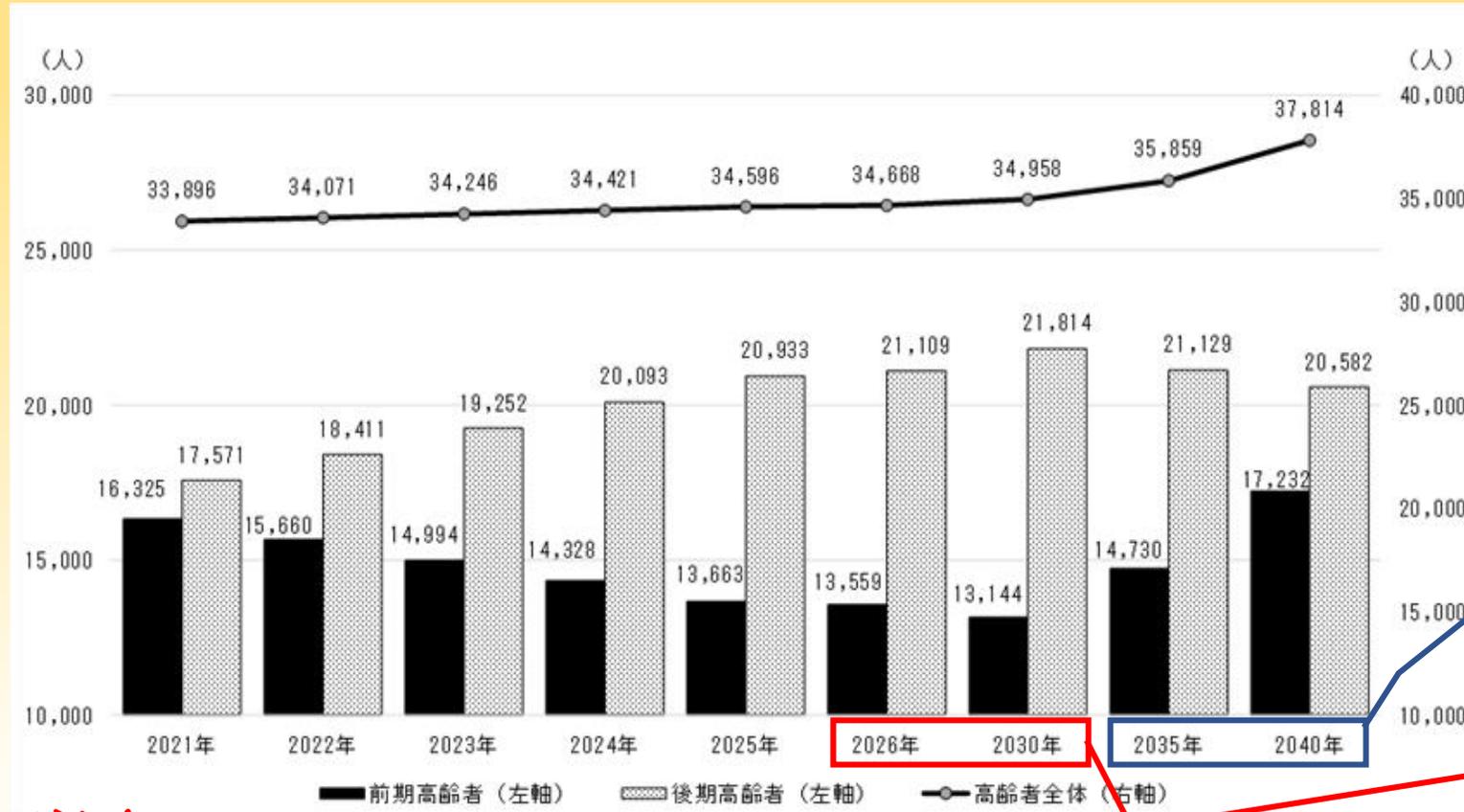
資料：第3期健康いこま21

- 市民の健康意識の高まり
- 100歳体操などの健康づくり、コミュニティの進化

(3) 高齢化の更なる進展

① 急速な高齢化

前期高齢者人口及び後期高齢者人口の推計



第2次ベビーブーム
高齢化

団塊の世代・
後期高齢化

2040年には「多死社会」へ。

→医療・介護人材の確保・定着への対応が課題

ACP (アドバンス・ケア・プランニング) をはじめとした意思決定支援や看取りなどの対応などが課題

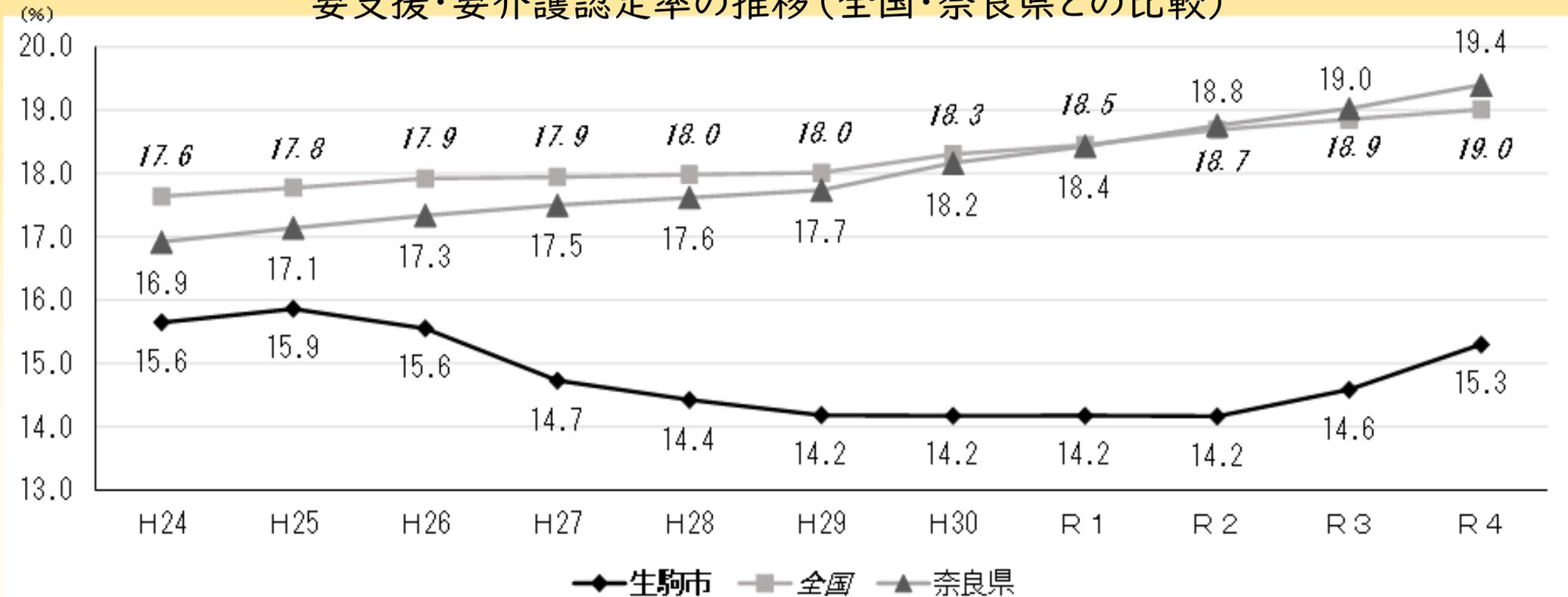
資料: 生駒市高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画

②要支援・要介護認定率の推移

- ・本市の認定率は全国及び奈良県よりも低い
- ・今後、後期高齢者数の伸びとともに75歳以上の認定者数が増加

パワーアップPLUS・パワーアップ教室・いきいき100歳体操などの介護予防事業施策の成果であり、引き続き推進していくことが重要

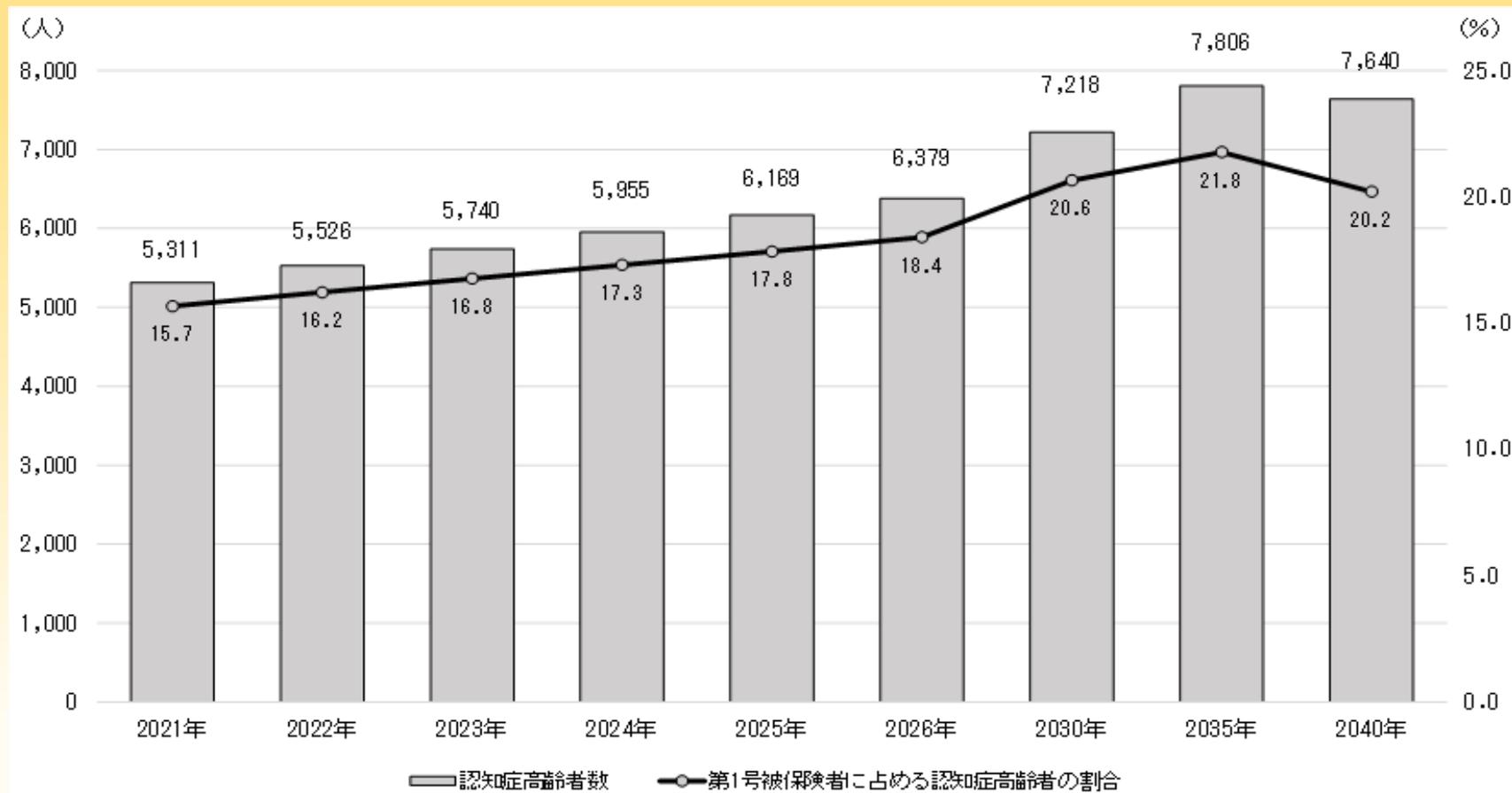
要支援・要介護認定率の推移(全国・奈良県との比較)



資料:生駒市高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画

③認知症高齢者の増加

認知症高齢者数の推移



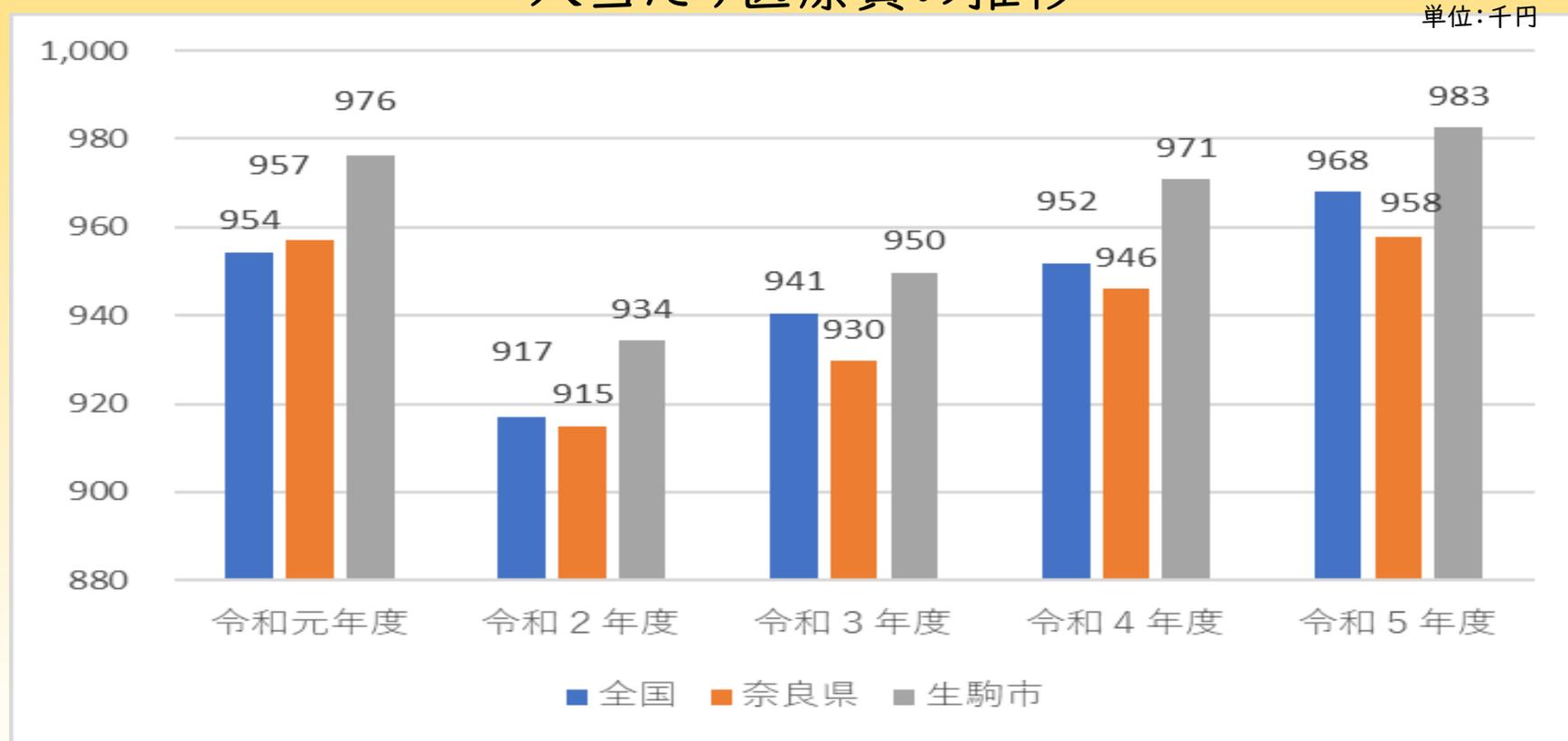
資料：生駒市高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画

日常の療養支援や緊急時の対応のほか、
権利擁護・意思決定支援の充実や家族の負担増への支援が課題

④社会保障費の増大

後期高齢者医療の一人当たり医療費は、全国平均及び奈良県平均をいずれも上回る。

一人当たり医療費の推移



さらなる介護予防・健康づくり、コミュニティづくりが不可欠

(4) 災害リスク(地震、土砂災害、新興感染症など)

南海トラフ地震、生駒断層帯など、今後発生が想定される大規模地震

気候変動による集中豪雨や土砂災害、熱中症リスクの増加

グローバル化による新型コロナウイルス感染症のような新興感染症のリスク

⇒医療提供体制に大きな負担をかけ、社会・経済活動にも影響を及ぼすことが懸念



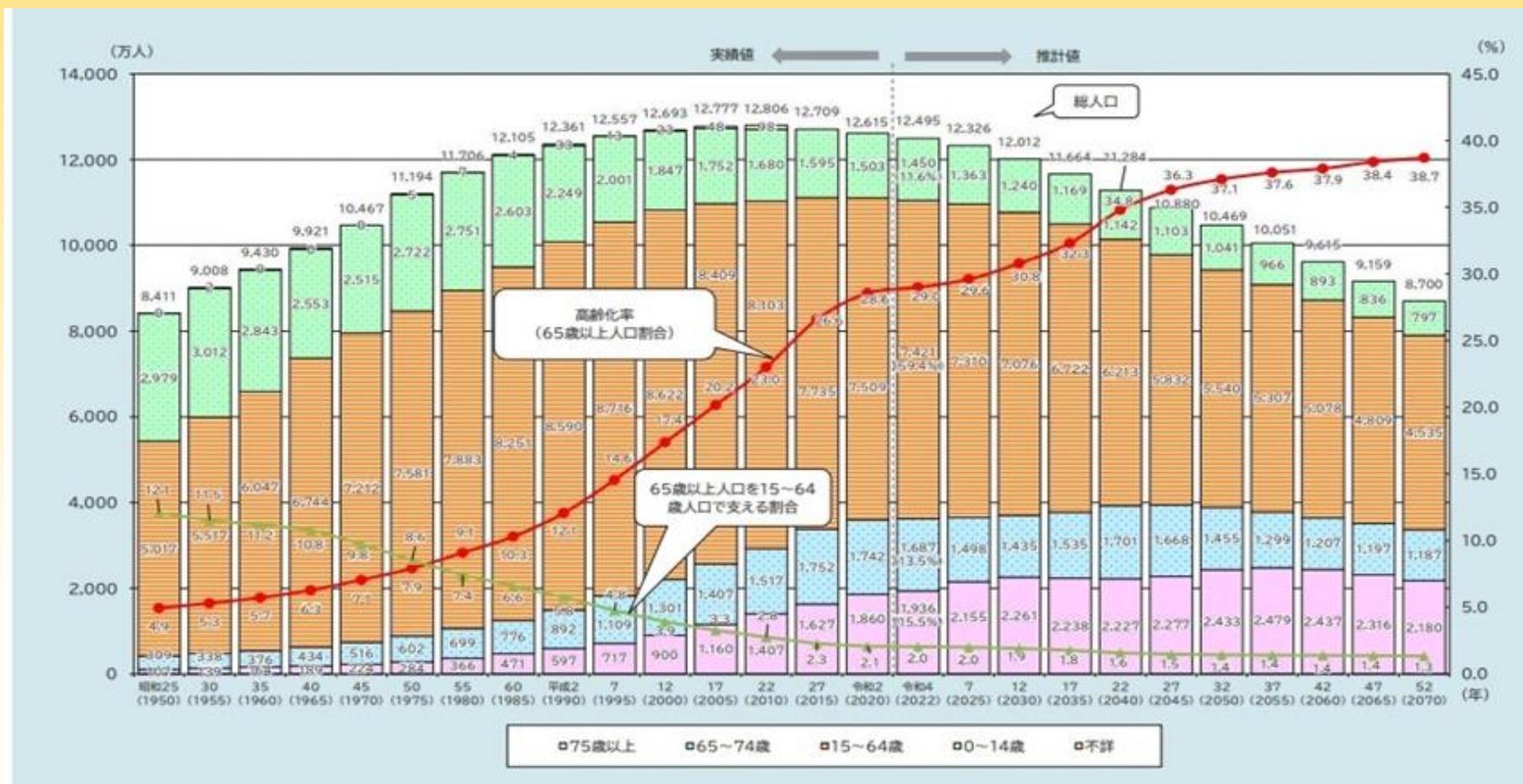
有事の医療体制について、

- ・個々の医療機関での備え(BCP、体制整備、物品確保等)
- ・病院間の連携
- ・医療・福祉・市民・行政の連携の具体化と訓練 等が不可欠

(5) 生産年齢人口の減少、医療人材の確保

生産年齢人口の減少、医師の働き方改革導入により、医療従事者の確保が難化

生産年齢人口の急速な減少



資料：令和5年版高齢社会白書（厚生労働省）

1の課題に対応するための

2. これからの医療のまちづくりを 進めるための基本理念

(1) 社会変化や地域課題に対応し、チャンスに変える変革精神

<デジタル技術や人工知能(AI)の積極的な活用>

デジタル技術やAIを積極的に活用して業務効率化を進めるほか、医療へのAIの活用、保健・医療・介護のビッグデータを活用したより良質な医療やケアを提供する

<働き方改革>

働き方改革の推進により、医療の質・安全を確保し、医療関係者の確保・持続可能な医療・介護を実現する。

<SDGsへの対応>

「目標3 すべての人に健康と福祉を」

「目標11 住み続けられるまちづくり」

「目標17 パートナリーシップで目標を達成しよう」

の具体化を加速する。



<最先端の医療技術や設備に対する知見と整備>

最先端の医療技術（AI/デジタル技術含む）及び医療設備の導入により、医療の質の向上及び医療従事者の負担軽減を実現する。

<社会的な変化や課題への感度を高め、スピード感を持って対応する>

発達障がいなどへの不安の高まり、不登校児の増加、ヤングケアラー、認知症や介護、高齢者の移動支援、災害時の要介護者支援など、変化する社会課題に対して、アンテナ高く把握し、スピード感を持って対応する。

(2) 市民や地域社会に対する発信と広聴を通じた積極的なコミュニケーション

<情報発信>

市民が日々の暮らしの安心を感じることができるよう、行政、医療機関、医療に関する専門職などの関係者から、医療・福祉分野の取り組み、医療情報など、具体的かつ効果的な情報発信を行う。

<行動変容の促進>

市民の安心感を高めつつ、健康増進に向けた市民の行動変容を促進する。

<医療ニーズの随時把握>

生駒市医療介護連携ネットワーク協議会や生駒市立病院管理運営協議会やデジタル技術なども積極的に活用し、市民の医療に対するニーズを随時把握する。

(3) 医療関係者、市民や地域との本気の協創

<地域完結型医療体制の構築>

病病連携・病診連携を推進し、医療機関同士がそれぞれの強みを活かした、より質の高い医療を提供できる体制を構築し、市全体としての医療体制を強化する。

<医療機関と介護福祉事業所との連携>

医療機関と介護福祉事業所との顔が見える関係性を構築し、市民が住み慣れた地域で安心して過ごすことのできる環境を構築する。

患者・利用者などの視点による医療・介護の提供体制を構築し、市民一人ひとりの自立と尊厳を支えるケアを持続的に実現する。

<大学等学術研究機関や専門家との連携>

大学等学術研究機関との連携・協力による医療動向の分析や最先端の医療技術の獲得・活用

<消防との連携>

医療と救急との信頼関係構築と救急時の円滑なコミュニケーション
救急車の適正利用の推進や応急手当講習など啓発事業を通じた市民意識向上への取り組み等を強化

<市民や地域との連携>

医療機関が地域へ出向き、医療的視点から自助による健康づくりなどを啓発
サロンやまちのえきなどの受け皿をさらに拡充し、貧困や孤独・孤立という課題を抱える人に対する「社会的処方」の取組を推進

2の理念を形にする

3. 社会変化や課題への具体的な対応

(1) 少子化及び支援の必要なこどもの増加への対応

①こどもを安心して産み育てやすい医療環境の整備

- ・分娩機能の拡充（生駒市立病院の周産期病床を19床から33床に増床）
- ・産後ケア事業の拡充（医療機関からのアウトリーチ型産後ケアの開始）
- ・特定妊婦、生活困窮や産後鬱などの課題を抱えるケースへの支援（1カ月健診の活用ほか）
- ・妊娠出産に係る経済的支援



②子育て環境の充実のため市内病院と市内小児科医との連携

- ・小児科二次医療提供体制の充実（小児科病床を5床から11床に増床）
- ・小児科患者の増悪時の入院受け入れ等バックアップ機能の充実
- ・学校医や園医への市立病院からの小児科医の派遣



③発達障がいなどへの対応

- 乳幼児健診・相談等における発達に課題を抱えるこどもの早期発見、療育開始支援
- 市立病院に発達外来を設置するなど、市内医療機関等の連携による発達障がい対応機能の強化
- 関係機関の連携による不登校児、児童虐待、ヤングケアラーのケースへの支援



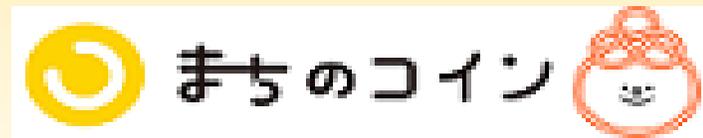
(2) 健康寿命の延伸への対応

①健康診断の受診促進

- ・特定健診など各種検診の受診率の向上
- ・医療機関と連携し、健(検)診後の精密検査等の受診率の向上
- ・疾病予防、重症化予防に関する病院等による医療講演の実施

②個人の健康情報の整理とデジタル技術の活用による健康促進

- ・デジタル技術の活用による各種健診(検診)・予防接種等のDX化
- ・地域ポイントの活用による健康づくりの促進



 まちのコインを
インストールして始めよう

iPhoneの方



Androidの方



③地域コミュニティを活用した健康づくり

- 市内病院の地域連携室等による「社会的処方」の実施
- まちの保健室、多職種の専門職を活用したアウトリーチ型の保健活動の実施

④介護予防・フレイル対策・認知症予防への取組強化

- 元気度チェックを活用し生活機能低下者を可視化し、効果的な出前講座等の取組を実施
- 認知症予防や認知症の重度化防止に向けた取組の促進



(3) 高齢化及び医療介護ニーズの高い方への対応

①医療と介護の連携

- 市内の介護福祉施設と診療所・病院が包括的に連携し、介護予防、早期の治療・入院、増悪時の対応の充実
- 入院高齢者に多い誤嚥性肺炎などに関する口腔ケア・嚥下リハビリ・家族支援の充実
- 認知症高齢者に関する入院時・退院時のケア・対応の充実および介護との連携強化
- 医療介護連携ネットワークにおける多職種顔の見える体制構築
- 身寄りのない高齢者への支援



②在宅医療を推進する体制

- ・在宅療養者の増大を踏まえた医療体制の整備、看取り強化・支援事業
- ・医療機関・薬局向けDX推進（電子カルテ導入等）補助金
- ・やまと西和ネットの活用による医療・介護情報のプラットフォーム化
- ・高齢者向けデジタルヘルス支援（スマートフォンやタブレットの使い方講習会等
- ・ACPやエンディングノートの普及啓発、第2ライフステージプラン作成などの促進



(4) 災害リスクへの対応

① 災害時の医療機能の確保

- 市内医療関係者と行政、地域などの連携による、大規模災害時の医療救護体制の整理・具体化
- 各家庭における「自助」としての備蓄強化（水・食料・常備薬・衛生用品等）
- 地域における「共助」としての市民力の活用（救急患者対応、災害時の対応等）
- 避難所における「公助」としての必要な物資の備蓄強化
- 医療機関等の自機関BCP策定支援及び連携型BCP、地域BCPへの取組
- クールスポットの設置や熱中症警戒アラートなど熱中症への対応



②新興感染症への対応

- 医師会や市内病院、医療機関とも連携した感染症患者受け入れや発熱患者に対する検査体制の整備
- 市消防本部、市内医療機関及び休日夜間応急診療所との意見交換会及び訓練等の実施
- 臨時予防接種の経験を生かしたワクチン集団接種体制の構築



③訓練の実施及びシステムの整備

- 災害時医療及び新興感染症対策に基づき、市内医療機関や市民等の参加による訓練を実施
- 避難行動要支援者管理システムの整備

(5) 地域医療体制の整備

① 医師・看護師など医療スタッフの確保

- ・市内医療機関の採用活動への支援（PR費用支援、採用活動費支援など）
- ・市と病院による「勤務間インターバル宣言」

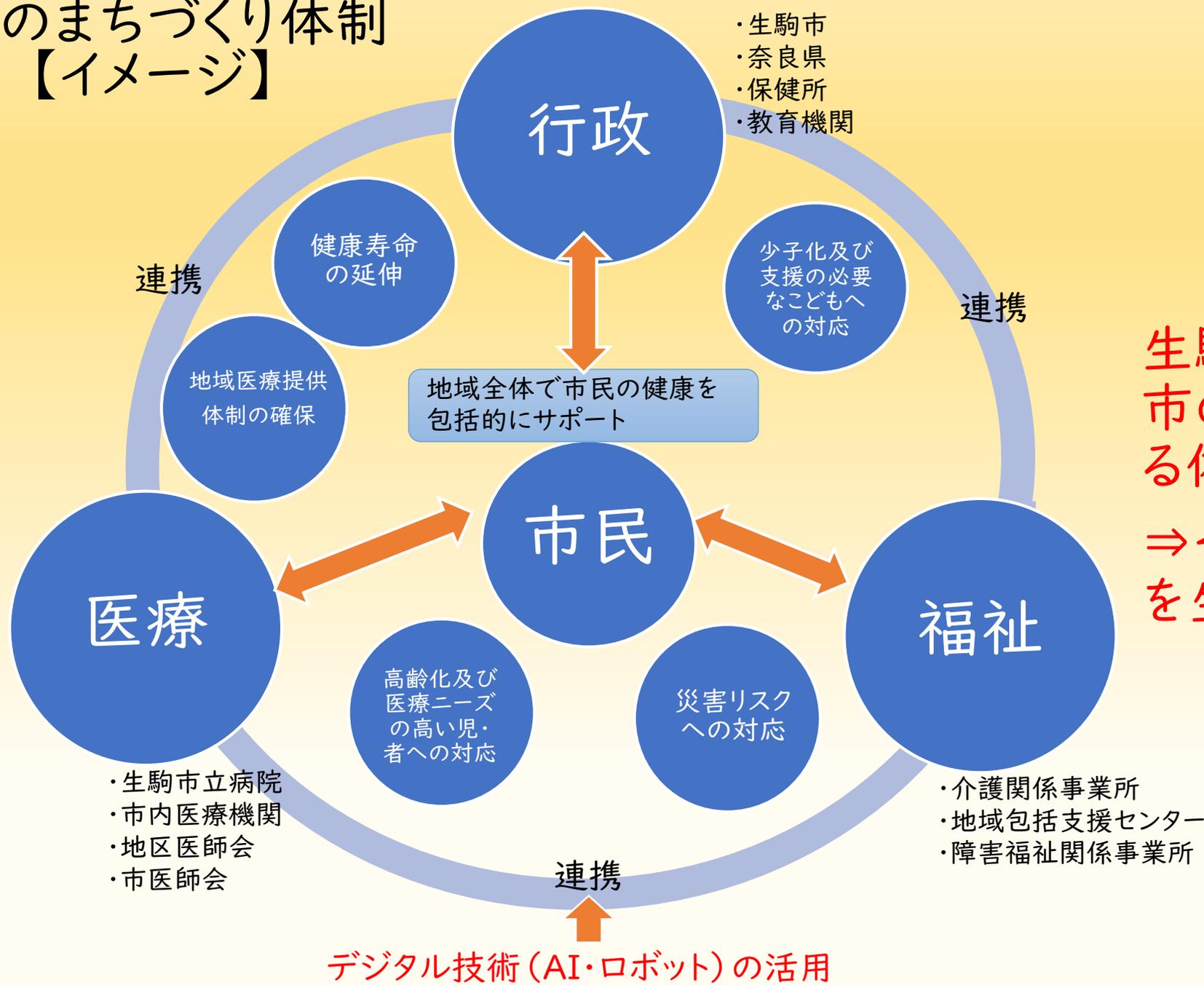
② 持続可能な救急医療提供体制の構築

- ・休日夜間応急診療所、二次輪番病院と市立病院との連携強化
- ・生駒市消防と市内医療機関（市外輪番病院含む）の定期的な意見交換会の開催

③ 病病連携及び病診連携の推進

- ・持続可能な医療提供体制を構築のための病病連携、病診連携の推進
- ・医療と市民、福祉、行政との連携による地域ネットワークの構築

医療のまちづくり体制 【イメージ】



生駒のまち全体で生駒市の医療ニーズに応える体制を創っていく。
⇒その中心となる役割を生駒市立病院に期待